

# 1 SNS型投資・ロマンス詐欺 ～新たな類型～

## 【手口の概要】

SNSで対面することなく交信を重ねて関係を深めて信用させ、指定した口座へ振り込ませるなどで金銭をだまし取るもの（LINEに誘導）

### ○SNS型投資詐欺

投資で儲かると信じ込ませ、利益が出ているように見せかけて心理的安心感を与え、投資名目等で金銭をだまし取る

### ○SNS型ロマンス詐欺

恋愛感情や親近感を抱かせ、投資に誘導したり交際の継続を前提とした様々な名目で金銭等をだまし取る



## 【発生状況】

令和5年

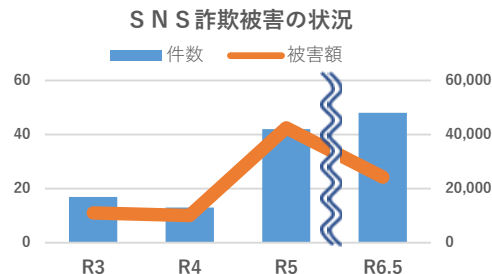
認知 45件（前年比 +29件）

被害 4億2,438万円（前年比 +3億2,288万円）

令和6年5月末【暫定値】

認知 48件（前年同期比 +42件）

被害 2億4,336万円（前年同期比 +2億1,467万円）



# 2 抑止に資する検挙

## 【犯罪抑止に資する先制的捜査】

### 「Σプロジェクト」の発足

- 県民の安全安心を脅かす組織犯罪を壊滅させるため、県警察の各部門の力を結集（Σ（シグマ）は「総和」等を表すギリシャ文字）
- 犯罪組織の実態を解明し、犯罪収益の剥奪や上部被疑者の検挙等により、犯罪抑止に資する先制的な捜査を展開



# 3 被害に遭わない対策

## 【被害に遭わない社会環境づくり】

### ～官民一体による被害防止対策

- 金融機関との連携強化
  - ・金融機関等との合同緊急会見（本年3月）
  - ・ATMによる振込みについて年齢や金額等の基準の見直し
  - ・携帯電話を使用しながらATM操作している者への声掛けやポスターの掲示
- コンビニエンスストアとの連携強化
  - ・通称「コンビニポリス」制度による防犯対策（令和5年6月開始、県内全ての店舗に担当警察官を指定する全国では先進的な取組）
  - ・コンビニ店員による高額電子マネー購入者等に対する声掛けやポスター掲示



## 【県民一人一人の犯罪に対する耐久力の向上】

### ～犯行の手口をよく知ること

- 各種警察活動による情報発信
  - ・交番の警察官による巡回連絡
  - ・各種防犯活動
- 各種広報媒体の活用
  - ・電子メール配信サービス「やまがた110ネットワーク」
  - ・山形県警察公式ホームページやSNS公式アカウント
  - ・YTS（山形テレビ）「提言の広場」（本年6月）



YTS「提言の広場」で情報発信

## 被害に遭わないためのポイント

### 【SNSでお金のお話が出たら詐欺】

- SNS型投資詐欺 → 「必ず儲かる」というフレーズが出てきたら詐欺
- SNS型ロマンス詐欺 → SNSでどんなに親しくなっても「お金の話」が出たら詐欺